

編修課事業概況

昭和二十四年七月以降昭和二十六年十二月現在に至る当課事業の概況は左の如くである。

一 皇室儀制に関する歴史的研究調査

昭和二十四年七月から新たに開始したこの研究調査は、踐祚儀・即位礼・大嘗祭・讓位儀・立太子礼・誕生式・成年式・大婚礼・賀算式・大葬礼等の臨時の儀礼、新年朝賀以下の恒例朝儀及び服喪・陵墓・鹵簿儀仗・供御・御服・御紋章に関する制度等凡そ十七項目を予定内容とする。而して事業開始以来、上記諸項目の中、踐祚儀、即位礼、立太子礼、讓位儀及び大嘗祭の五項について逐次資料の調査採取を進めて来たが、更に昭和二十六年一月より新たに成年式関係資料の蒐集も始めてゐる。但し、後述の如く昭和二十六年十一月以降は貞明皇后実録の編修をも併せ行ふ事となつたため、爾後本事業の方は一時停滯の已むなきに至つてゐる。

なほこの間、昭和二十五年及び二十六年の秋には夫々東山御文庫本曝涼の期に際してその拝観を許され、即位・立后・立太子・元服・御神樂・諸社祭・恒例朝儀・節会等の儀制関係資料の調査採訪を行つたが、今後とも本研究調査の完璧を期するため、漸次部外資料の採訪を行ふ予定である。

又、日本学士院に於ける事業中止のため、編修未了のまゝ当課に引継を受けた帝室制度史第二編后妃編、第三編皇族編の完結をも図つて来たが、これは昭和二十五年十二月を以て本文並に資料の編纂を一応終了す

るに至つた。その内容は概略左の如くである。

后妃編

一 總説

二 皇后(稱号・冊立・退位・待遇・尊稱皇后)

三 皇太后(稱号・冊立・退位・聴政・待遇)

四 太皇太后(稱号・冊立・退位・入内・聴政・待遇)

五 後宮(妃・夫人・嬪・女御・更衣・御息所)

六 准母(起源沿革・資格・待遇)

七 女院(總説・稱号・后位との關係・院号の宣下・院号の辞退と停廢・聴政・待遇・出家)

八 皇嗣妃(皇太子妃・皇太孫妃)

皇族編

一 總説(稱呼・範圍・猶子養子並に實子)

二 待遇(叙位・降位・叙勳・任官・俸祿・礼遇・附屬官司)

三 婚嫁(婚嫁の制・婚嫁の類例)

四 親王宣下(親王宣下の制・皇親の出家と親王宣下・世襲親王の制)

五 臣籍降下(賜姓に因る降下・相續婚嫁に因る降下・懲戒に因る降下・皇親への復歸)

二 貞明皇后実録の編修

昭和二十六年五月貞明皇后の崩御にともなひ、新たに同皇后実録の編修を行ふ事となり、同年秋以来これが準備を進め、十一月以降その編纂に従事してゐる。本実録は曩に当課に於て編修した天皇皇族実録の体裁に倣ひ、編年史料体によつて、皇后御一代の御事績を記述せんとするものである。而して現在はその第一年度として先づ公文書類を主とする官庁資料の採取に従つてゐるが、他面これと俱に旧側近奉仕者や御縁故者その他関係者の談話、手記等の採訪をも併せ行つてゐる。